

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年11月 5日 第20号
発行;校長 村上謙一

【6年生 平和学習】



10/28(火)、豊川海軍工廠語り継ぎボランティアの皆さんをおむかえして、6年生が平和学習に取り組みました。昭和20年空襲当日に豊川海軍工廠で勤労学徒として業務についていた方の体験を語り継いでいただきました。私は死を予感した中学生がご両親にあてた遺書の言葉に胸がつかまりました。戦火を生き抜いた人の言葉には、平和への説得力があります。6年生はこれから海軍工廠平和公園を訪問します。しっかり学んでください。

【トイレのにおいを確認する児童が現れる】



10/27(月)、第1回のプロジェクトが開かれました。その中の一つに「トイレをきれいにする」がありました。翌朝、数人の児童がトイレ入口から中をのぞいているように見えました。私が声をかけると、「トイレがいいにおい、というかにおいがいいよ」と言います。プロジェクトでトイレをきれいにした児童が、翌朝きれいにしたトイレのにおいを確認しに来ているのです。そうじの時間に「やらされる」そうじと、プロジェクトで「やりたい」そうじとの意識の違いです。そこにはトイレをきれいにする当事者としての子供の姿がありました。感動しました。

【環境学習】

10/29(水)アイシンシロキ株式会社様、アスクネット様をお招きして、4年生が環境学習に取り組みました。本校が継続的に取り組んでいる学習です。今年の6年生はこの学びを通してSDGsの取組を学び、関西大阪万博訪問につなげました。



【登下校の姿から】

子供の教育に当事者としてかかわっていただく地域の大人から、子供たちの姿についてご連絡をいただきます。ありがとうございます。しかし、お知らせの内容にうれしい姿はほとんどなく、残念な姿が多いようです。

- ・自転車に乗る子がヘルメットをかぶらない。注意しても変わらない。
- ・横断歩道いっぱい広がって、走って、人にぶつかって危険。
- ・遮断機が下りているのにくぐってわたる。
- ・公園で爆竹を鳴らしてうるさくて困る。
- ・道路の横断歩道がないところを渡って危険。

一つ一つについて、その都度支援をしています。それよりもこれらの行動の根っこの部分は何かを考えないといけませんね。子供たち・・・

「どうして困る人がでてしまうのだろうか？ほかの人はどんな顔であなたを見えていますか？思いやりって？ルールやモラルって？だれ一人排除しないやさしい社会ってどんな社会だろうか。そんな社会を作る人ってどんな人だろうか。あなたの近くの大人はどんな行動をしているだろうか。はたして、大人は手本を示しているだろうか。正直に言うと、残念ながら校長の私も、道路にごみが落ちていても拾わないこともあって、次は少しはましな行動をしようと思うことばかりで、えらそうなことは言えないんだけどね。」

そういえば、近頃のみなさんのぼうしのかぶり方は、4月と比べてどうですか？好ましい変化ですか、残念な変化ですか。先日の一斉下校では、君たちが通り過ぎるまで、じっと待っているおばあさんの姿を見ました。その人はうば車をひいていました。だれかが歩道を一人分あけてあげると待たずにすむのにね。これも根っこは同じです。各学級でしっかり考えないといけませんね。やさしい行動でいっぱいの一西小ですから、これらが改められないはずがありません。私は皆さんを信じています。

また、地域の大人の皆さんにもお願いします。子供は間違いから学びを深めます。間違ったその時が成長のチャンスです。その場で「困っている人がいるよ。よく見て」「それって、どう思うの？」「だいじょうぶ？」って叱ったり、問いかけたりしていただくことが何よりの学びになります。これからもどうぞよろしくお願いします。